

2025年5月24日

長野市 市内バス路線廃止に伴う対応案についての意見
中山間地の活力維持と未来を担う若者支援に不可欠な土休日バス運行の要望

天空の里 いもい農場

1. 地域活性化を支える「天空の里 いもい農場」の12年

私たち「天空の里 いもい農場」は、芋井地区外の幅広い世代の方々が、高齢化が進む芋井広瀬地区に集い、食育や農業体験の場を創出しているボランティア団体です。芋井地区住民自治協議会と連携し、中山間地の活性化を願い、12年間にわたり活動を継続しています。2024年には15回の活動を実施し、延べ1,000人以上の方々にご参加いただきました。

2022年からは長野市が主催する「地域まるとキャンパス」の仕組みを活用し、世代間交流の充実と「地域で大切なバス路線を守る」という目的で「バスでGo!」プロジェクトに取り組んでいます。このプロジェクトでは、高校生や大学生が食農体験を通じて地域課題を考える機会を提供しています。さらに、2024年からは長野市子どもの体験・学び応援事業にも参画し、小・中学生の体験機会も創出しています。

2. 中山間地の集会・交流機会の維持に必要な公共交通

現状の問題点として、高校生や大学生が子どもたちの居場所づくりを行う上で、路線バスは不可欠です。バスが運行されなくなれば、活動に参加できなくなる学生が出てくるのが懸念されます。また、私たちの活動だけでなく、中山間地での集会が開催できなくなり、地域住民の交流機会が失われてしまう恐れもあります。このような状況が続けば、地域全体の活力が著しく低下すると考えられます。

3. 土休日運行のデマンド交通導入による地域活性化と利便性向上

長野市の案では土休日が運休となっていますが、中山間地に居住する方々だけでなく、中山間地へ訪れる方々の利便性も考慮していただきたいと切に願います。

そこで、土休日限定で、市街地から集会場所までの運行ルートを設定した、予約制デマンド交通の導入をご検討いただきたく要望いたします。運行時間帯は8時台と14時台、そして現行のバス運賃と同程度の料金設定が望ましいと考えます。土休日のデマンド交通は、高校生や大学生の活動を支え、地域住民の交流を促進し、ひいては地域の活性化に繋がるものと確信しております。

4. 地域課題解決への貢献：これまでの実績と今後の展開

「バスでGo!」プロジェクトでは、これまで多くの学生を受け入れてきました。

- ・ 2022年：清泉女学院短期大学2人、篠ノ井高校4人
- ・ 2023年：長野県立大学4人、篠ノ井高校3人
- ・ 2024年：長野県立大学1人、長野県立篠ノ井高校2人、長野女子高校4人、
市立長野高校3人

私たちは2029年まで、この取り組みを継続していく計画です。中山間地に若者の発想とアイデアを取り入れることで、地域活性化の一助になりたいと考えております。

何卒、本要望についてご検討くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。